

UNE FLAMME DANS MON CŒUR

わが心の炎

アラン・タネール監督作品



ミリアム・メジエール脚本／主演

脚色■アラン・タネール 撮影■アカシオ・デ・アルメイダ 製作■パウロ・ブランコ 音楽■ヨハン・セバスチャン・バッハ「バルティータ」2番「ソナタ」1番より

製作■GARANCE/La SEPT et FILMOGRAPH 出演■アズイズカブーシュ プロワ・レジャン

1987年/スイス・フランス/1時間50分/モノクロ/スタンダードサイズ/配給■株式会社シネセンゾ

わが心の炎

解説

アラン・タネールの最新作が到着した。「ジョナスは2000年に25才になる」(1976年)・「光年のかなた」('80年)・「白い町で」('83年)と、公開されるごとに、その時代の感性、雰囲気、一人の登場人物の個性の中に凝縮した映像が評判を呼び、1984年に初めて商業的に公開されてから、わずか4年、A・タネールの名は確実に日本の映画風土に定着しつつある。いまだに公開されてはいないが「どうなってもシャルル」・「サラマンドル(火とかげ)」・「ノー・マンズ・ランド」等、タネールの作品は脚本も自作である場合が多く、そのタイトルにはすべて聞く者の感性を刺激してやまぬ香りがある。タネールの最新作「わが心の炎」も「愛の永久革命」がテーマである。'86年に公開された「白い町で」が男の愛＝アイデンティティの恒久的な探究をテーマにしていたのに対し、この作品は脚本が女性(主演女優)であり、女性の側から決して成就することのない愛を描いている。

この映画の主人公メルセデスは意識的に愛を失い続けている。個人の変貌(内的変革)は愛の獲得よりも失う時にその契機があると主張し、彼女は愛を得て積極的に失い続ける。しかしその喪失が彼女にとって試練でないはずはなく、生活のバランスと精神の均衡を徐々に崩壊させ、ついに彼女は心象風景のような砂漠をあてどなくさまよう。タネールは愛の不毛ではなく、愛を失う豊さを物語っている。愛の獲得によって女は類型(通俗)に復帰するしかないのに比較して、愛を失う時の絶望と希望の心の振幅にはいかに多くの収穫が潜むかを彼は描く。「白い町で」の男性は旅の行く先々で8ミリを撮りファインダーを通して自己の心境を探り、アイデンティティを確認しながら、流浪を続け意識は、無意識に、妻のもとへと向っていた。しかし「わが心の炎」のメルセデスは、つきまとわれすぎても、逆にいたわってはいくらでもどこかクールな男も、共にノンであり、満ち足りぬまま、空虚感を埋める何かを求めて舞台女優から束の間の緊張を燃焼するウインドオストリッパーへと転進し、内的葛藤をかかえつかみどころのない未来へと激しく身もだえてつき進む。「わが心の炎」とは、愛を失う事で意識(自己)を獲得しようとするエネルギーの象徴であり「炎」とは、それでも愛を求めるメルセデスそのものである。

スタッフ6人、シナリオ脱稿まで2日、脚本、主演メジエールと、タネールの私(志)をつらぬいた映画である。



FLAMME



DANS



MON



COEUR

キャスト

メルセデス——ミリアム・メジエール
 ジョニー——アズィズ・カブーシュ
 ビエール——ブノワ・レジャン
 女友達——ヒアンナ
 “ミュータント”——ジャン＝イヴ・ベルトウロ
 エティエンヌ——アンドレ・マルコン
 ピアニスト——アンヌ・ルッキ
 演出家——ジャン＝ガブリエル・ノールマン

ストーリー

時代は現代。舞台はパリとカイロ。主人公の名はメルセデス。シングル・30代・職業は女優。“夢の供給者”であると同時に自分を愛する男にとっても、彼女は夢の女と思われた。彼女が最初につきあった男の名はジョニー。20代後半。定職がなく、時には盗みさえ働く。不安定な生活のためメルセデスに対する情熱と執着は人一倍で、彼女も初めはその熱意を活力としたが、徐々にわずらわしさを感じ、ついにメルセデスは長いいさかいの後に、彼を拒絶する。

次に彼女が地下鉄の中で会ったのがビエール。40代前半、自分の仕事を愛し、熱心に働くジャーナリスト。ジョニーとは反対に自分の生活を楽しみ、立場を認識し知的で繊細な常識人。彼との間でしばらくの間、密月が続いたが、仕事のためには2週間も彼女との生活を留守にするような男のために、彼女もしだいに距離をおいて接するようになり、やがて関係はカイロで終わる。

その他に2人の男性の友人と1人の女ともだち。1人の男性は同性愛者、メルセデスはミュータントと呼ぶ。しかし彼はいつも陽気にふるまう不思議な雰囲気をもつ性を越えた人。エティエンヌはメルセデスの昔の恋人、偶然街で出会う、女ともだちは舞台の仲間。



5月下旬より
 独占
 ロードショー!

CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅下車1番出口 WAVE地下1階
 お問い合わせ＝03(403)6061

連日	12:00	2:20	4:40	7:00
(土)のみ夜9:20				

●自由席定員制・入替制

特別鑑賞券1,200円発売中

(当日一般1,500円・学生1,300円)

都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求めください。